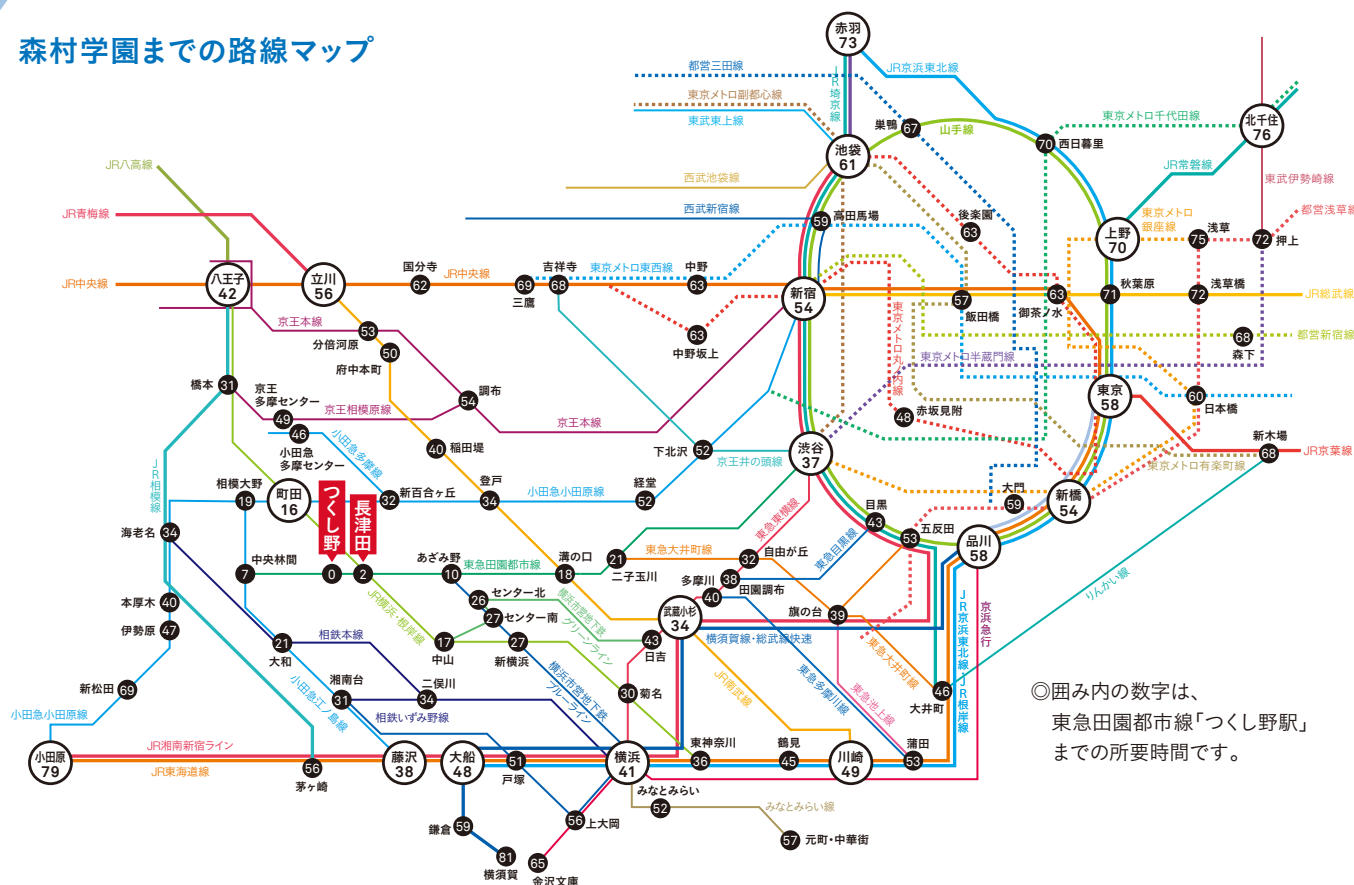
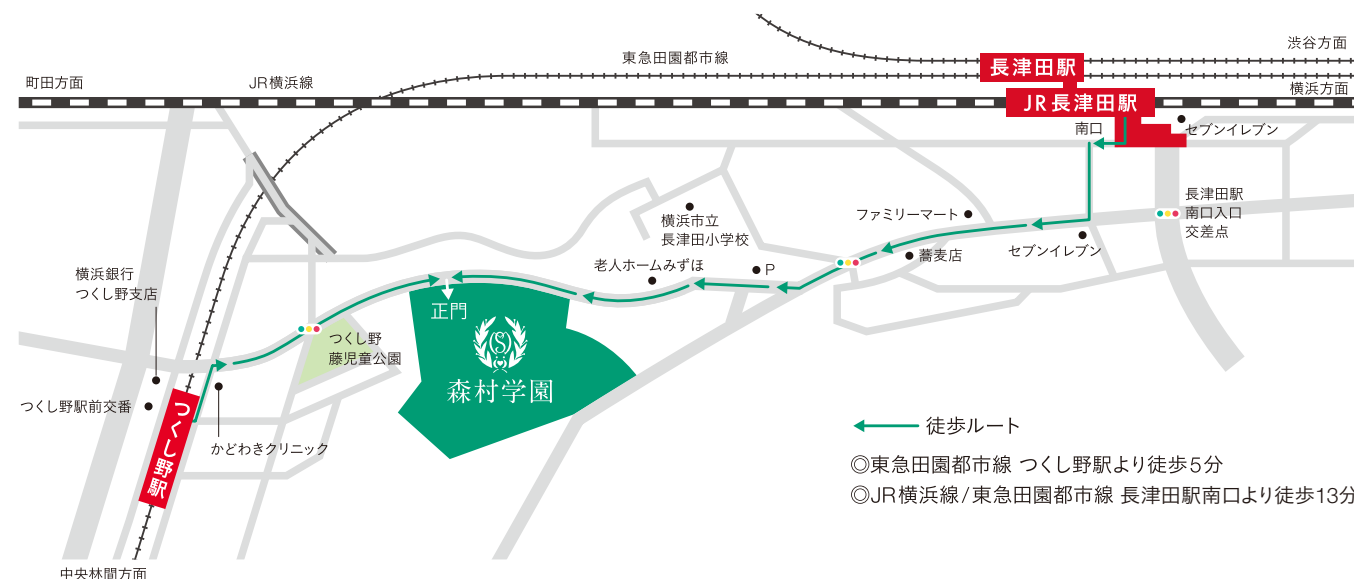


森村学園までの路線マップ



学園周辺マップ



森村学園

中等部・高等部

世界の課題を自分ごととしてとらえ、
さまざまな人と協働しながら新たな道を切り拓いていく力。
周りの人を幸せにし、自らも幸せになる、豊かな社会をつくっていく力。
世界が大きく変わった今、このような力が改めて求められています。

幕末から明治にかけて日米貿易を切り拓いた創業者・森村市左衛門が説いた
「世界に伍する若者の育成」を目指す森村学園での学びは、
まさに、これからの時代を生きていく子どもたちの大きな力になることでしょう。
本校では、「独立自営」の精神と共に、「正直・親切・勤勉」な人格を身につけた
創立者の起業家精神に学びつつ、世界でたくましく生きる力を育んでいきます。

森村学園で目指す未来

建学の精神
「独立自営」

教育理念

人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、
世界の力、社会の力となる人材の育成

校訓
行動指針

正直

誠実であることを最上とし、
偽りのない人であれ。

親切

あたたかき心を持ち、
行動する人であれ。

勤勉

人の力は無限に進む。
学び続ける人となれ。

グローバル人材のロールモデルとしての森村市左衛門先生からの学びは、

New Normal Education の最適化の道へ。

新しい学びのカタチ(New Normal Education)を次のステージへ

2020年度は、新型コロナウイルスの蔓延の中、生徒も教員も試行錯誤の毎日でした。学びを止めないために大きな課題だったのが、リモートでの学習環境です。コロナ禍以前から高等部1年生には2in1PCを整備する準備を進めていましたが、急遽、対象を中等部生にも広げました。初めは課題や動画配信から始まったリモート学習ですが、学習環境が整ったことで、いまやライブ授業を配信できるまでになっています。今後もMicrosoft認定教育イノベーターの3名の教員を中心に、きめ細やかなサポートを行い、コロナ禍の体験や試行錯誤を生かして、リアルとリモートを組み合わせ、より高度なICT活用とオンライン授業の質向上を目指していきます。

変わらない「独立自営」の精神が適応力の源

休校時はMicrosoft Teamsを使用しての朝礼・終礼で生活リズムをつくり、スクールカウンセラーが携帯電話を所持することで保護者から気軽に相談いただける体制を整えました。また、学年通信などの情報提供をデータ配信に切り替え、学校・保護者・生徒のつながりを保っています。生徒も教員も心身ともに戸惑うことが多い中、変化に対応できているのは「独立自営」の精神が根底にあったからです。今から100年以上前、崇高な起業家精神(Entrepreneurship)を持ち、横浜の港から青海原に出てアメリカに渡り、日米貿易の先駆者となった創立者・森村市左衛門先生が礎とした「独立自営」の精神を養い続けることが、今の転換期に大切なことなのです。

「国際交流・多言語教育センター」の取り組み

海外研修プログラムが軒並み中止になる中、グローバル教育の推進は「国際交流・多言語教育センター」が中心となり、新しい形のプログラムを取り入れています。多様な価値観に触れられる環境を校内につくろうとコロナ禍以前から準備を進めていた当センターは、本校の国際交流教育と多言語教育を統括する組織です。2020年度は、US Dual Diploma Program(本校の通常の授業に加え、オンラインによる学習でアメリカの高校の授業を受講し、卒業時に日米2つの卒業証書を手にするプログラム)と多言語・多文化講座をスタートさせ、生徒・保護者から大きな反響がありました。このセンターは、

「言語技術」を救世主に、英語をはじめとする多言語が背中を押し、多様性の大切さを発信していく拠点となります。

今後の社会で幸せに生きていって欲しい

「課題解決(PBL)型授業」で、論理的思考力・批判的思考力・創造的思考力を身につけることで、目的地に向かう舟を自ら漕いだり、仲間と船を操縦したりしながら、大きく世界を切り拓く人材を育てることこそが、森村学園の「未来志向型教育」の考え方です。従来のやり方が通用しない場面に直面している今まさに、その重要性を感じています。「未来志向型教育」を進めるにあたっての私の一番の願いは「今後の社会で幸せに生きていって欲しい」ということです。語学が堪能な人材を育てることが最終目標ではありません。「未来志向型教育」はみんなが幸せに生きる基盤となるものだと考えています。そして、幸せに生きていくためには、森村市左衛門先生の人生哲学であった校訓「正直・親切・勤勉」も忘れてはいけません。これは、みなさんが愛に満ちた社会をつくろうとするときの合言葉です。森村から船出する生徒たちがこの言葉を受け継ぎ、伝えていってくださることを願います。

校長
えがわ あきお
江川 昭夫



時代を見据える森村学園
これまでの100年とこれからの100年

建学の精神「独立自営」

教育理念

人徳を備え、自らの力で人生を切り拓き、
世界の力、社会の力となる人材の育成

校訓 - 行動指針 -

■ 正直

誠実であることを最上とし、
偽りのない人であれ。

正直

- ①自分自身に偽りのない心を持つ。
- ②相手を信頼し、誠実な心で接する。
- ③徳を重んじ、
人として正しい道を歩む。

■ 親切

あたたかき心を持ち、
行動する人であれ。

親切

- ①自らを大切にでき、人の悲しみや
喜びに共感できる心を持つ。
- ②互いの個性や立場を尊重し、
思いやりを持って行動する。
- ③自らを取り巻くすべてのものを愛し、
大切にする。

■ 勤勉

人の力は無限に進む。
学び続ける人となれ。

勤勉

- ①学ぶことの喜びを知り、真理を
求め続ける強い心を持つ。
- ②自分や他者の良いところに気づき、
よりよい関係を築こうとする。
- ③学びを生かし、自らの夢と
幸せな社会の実現を目指す。



創立者・森村市左衛門プロフィール

TOTO、ノリタケ、日本ガイシなど日本のセラミック産業の創始者として、そして何よりも明治という時代に日米貿易に先鞭をつけた伝説的人物となっている森村市左衛門翁。日本の国力を盛り立てようと、日本製の洋食器をアメリカに輸出し、激動の時代の大成功者となった一方で、彼が痛感したのは「人づくり」の大切さでした。そこで日本女子大、慶應義塾大、北里研究所等に多大な資金援助を行い、その創立に寄与。さらに「独立自営」の精神のもと、自らの屋敷の一角に幼稚園と小学校を創立しました。森村市左衛門翁の人生哲学であった「正直・親切・勤勉」は、そのまま森村学園の校訓として受け継がれています。

沿革

- | | |
|------------|---|
| 1839 天保10年 | 創立者六代目森村市左衛門生まれる(幼名は市太郎)。 |
| 1910 明治43年 | 南高輪幼稚園開園。
南高輪尋常小学校開校。 |
| 1941 昭和16年 | 国民学校令により、森村初等学校と改称。
森村高等女学校発足。
女学校新校舎建築工事起工。
財団法人森村学園創立・認可。 |
| 1948 昭和23年 | 校名変更許可。
森村学園幼稚園・初等科・中等科・高等科となる。 |
| 1950 昭和25年 | 中・高等科が男女別学となり、男子部が発足する。
創立40周年。 |
| 1951 昭和26年 | 財団法人を改組し、学校法人森村学園となる。 |
| 1978 昭和53年 | 横浜市緑区長津田町に移転開始。
幼稚園・初等科・男子部・女子部・専攻科を
幼稚部・初等部・中等部・高等部・専攻科とし、
専攻科(女子)のほかは各部とも男女共学制とする。 |
| 1997 平成9年 | 中等部・高等部を一体化。 |
| 2000 平成12年 | 創立90周年を迎える。
中等部5クラス制に移行開始。 |
| 2004 平成16年 | 中等部・高等部週6日制へ移行。 |
| 2010 平成22年 | 創立100周年を迎える。新校舎落成。 |
| 2020 令和2年 | 創立110周年を迎える。 |

6年一貫教育

大学進学とその後の未来を見据え、
6年一貫の利点を活かした横断的な学習プログラムを設計しています。



3つの教育ステージ

6年間を3つのステージに分け、先のステージを見据えて「今」必要な学習を徹底して指導します。

中等部1年

中等部2年

中等部3年

高等部1年

高等部2年

高等部3年

基礎学力の育成



国語・数学・英語等では頻繁に小テストを実施。定期的な復習・家庭学習を促して学習習慣を身につけ、6年間の学びの土台をつくります。

応用力の育成



中1・中2で培った基礎学力をもとに、学びを発展させ深めていきます。中3からは徐々に高校の授業の先取り学習が始まります。

実践力の育成



高2から「文系コース」と「理系コース」に分かれます。高3では、志望大学合格に向けて、演習授業で実践力を強化していきます。

未来志向型教育

中等部3年間で、6年間の基盤となる言語技術を習得し、外国語(英語)教育・課題解決(PBL)型授業を推進していきます。

P.7

言語技術教育

未来志向型教育の基盤となり、論理的思考力を育む「言語技術」の授業により、中3までに

基礎となる考え方を身につけます。

P.9

外国語(英語)教育

6年間の学びを、コミュニケーションアプローチからロジカルアプローチを経て、クリティカル・

アナリティカルアプローチへと段階的にステップアップさせながら4技能を習得します。

P.10

課題解決(PBL)型授業

グループディスカッションから論文作成まで、予測不可能な未来のために「答えのない問い」

に挑みます。

P.11

教科教育

6年間を見通した授業計画で、希望の進路を実現できる学力を身につけます。

P.13

国語

中等部では読解(国語Ⅰ)と文法(国語Ⅱ)の授業を分け、基礎力を養います。中3からは高校

の現代文や古典の内容を含めて学習します。

数学

中学・高校の学年・分野を融合。理解しやすく、体系的かつハイレベルな「体系数学」を教科書

に採用しています。

理科

中1～中3は上半期に化学(理科1)・生物(理科2)を、下半期に物理(理科1)・地学(理科2)

を学びます。

地理・歴史・公民

中1は日本地理・世界地理、中2は歴史、中3で近現代史・公民を学びます。

文理選択

高2進級時に文理選択を行います。目指す進路、受験する教科に合わせて柔軟に教科を選択することが可能です。



キャリア教育

目指す進路と進学先を具現化します。

進路指導

自ら目指す「路」を明確にする手助けをします。

P.17

進学指導

具体的な進学先を設定、志望校合格のために全力でサポートします。

P.18

行事

行事は人を育てます。研修旅行を通じて多様な世界に触れ、校内行事では主体性をもって行動する姿勢が身につきます。

P.21



みなかみ研修旅行



イングリッシュキャンプ



ニュージーランド修学旅行



広島研修旅行



京都・奈良修学旅行

※2019年度実績
(2021年度以降は検討中)

「独立自営」の精神で未来という青海原へ

未来志向型教育

森村学園の未来志向型教育とは

森村学園が推進する「未来志向型教育」は、「言語技術」を基礎に、「外国語(英語)教育」「課題解決(PBL)型授業」「ICT環境」の3要素から成り立つ独自の教育システムです。予測不可能な未来社会をたくましく生き抜くために、教養ある自己表現を獲得し、自国社会はもとより国際社会に貢献する人財を育むこと。それが、森村学園が目指す「未来志向型教育」です。



「言語技術」という船が、「外国語(英語)教育」「課題解決(PBL)型授業」を推進力として、「ICT環境」を利用しながら確かな未来を目指す。それが、森村学園の考える、「未来志向型教育」です。

未来志向型教育の学習プロセス

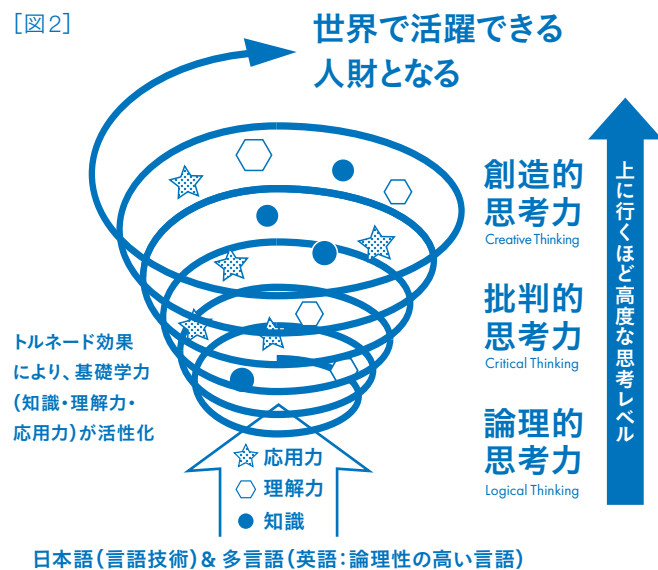
学習のプロセスは、「知識」の集積、「理解」「応用」を経て「論理的思考」「批判的思考」「創造的思考」へと思考レベルが向上します。これは、「タキシノミー(教育目標の分類学)」という、アメリカの教育学者ベンジャミン・ブルームが提唱したものです。[図1]

森村学園では、基礎学力の習得とともに「言語技術」を学ぶことで、[図2]のように「学びの好循環」を生み出します。生徒は、「言語技術」を活用することにより、習得した基礎学力(知識・理解力・応用力)を、より高度な思考レベルへと引き上げることができます。ひとたびその循環に入り込むことができれば、学習の上昇スパイラルがトルネードのごとく基礎学力を活性化させて発展していきます。

[図1]【教育目標分類】



[図2]



ゴッホ「星月夜」の分析(言語技術)



言語技術教育

グローバル人財の基盤をなす

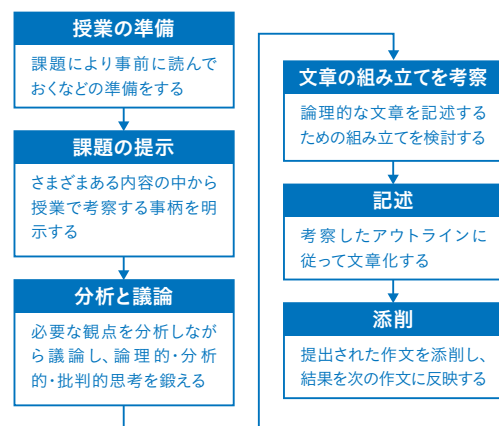
言語技術の特徴は、言葉を用いるさまざまな手法を生徒の参加と作文によって指導する点にあります。それは、対話・物語・説明・論証に分類され、問答ゲームを通して型に則って発信する方法を指導した後、大量の質問を浴びせて対象を分析的に捉え、自ら発問する能力を獲得させます。これを基盤に全ての授業がアクティブ・ラーニング、すなわち思考し、発信する形式で行われます。問答ゲームはパラグラフ形式の文章である小論文や英語の記述方式に発展します。この時必要なのが情報を空間的に配列する手法で、これは全体から部分に情報を組み立てる能力となります。文学も重要な要素で、そこには物語と絵・テキストの分析が含まれます。文学的教材や絵画を分析的批判的に考察することは深い教養の土台となります。こうした授業は全て議論で実施され、作文で完結されます。その繰り返しの中で、森村学園の生徒は国内のみならずグローバルに通用する母語力を身につけます。



つば言語技術教育研究所と提携し、所長の三森ゆりか先生にも、ご指導いただいています。

積み上げ方式の言語技術

数学と同様、最初は各スキルを個別に学習し、最終的にはあらゆるスキルを応用しながら論理的・分析的・批判的・創造的に思考して議論し、記述できるようにします。



「言語技術」とは

言語技術は、古代ギリシャの雄弁術などに端を発する言語教育で、西洋言語圏の母語教育の根幹をなすものです。その目的は、「聞く・話す・読む・書く・考える」という言語の5機能の鍛錬にあり、ここに文法事項や語彙の組み立てなどを含むあらゆる言葉の要素が含まれます。英語圏では母語教育の内容が言語技術なので、それを母語で身につけると英語の獲得に繋がりやすいです。

「言語技術」が身につく森村学園のカリキュラム

問答ゲーム

世界に通用する型(結論・根拠・まとめ)で発信する訓練です。同時に質問に答える力、分析的に発問する力を鍛えます。英語、及びパラグラフ構成の文章の土台にもなります。

再話

読み聞かされた物語を再生する訓練です。これを通して、物語を構造的に捉える力、重要点をメモする力、物語を文章化する力、大量に記述する力、要約力が身につきます。

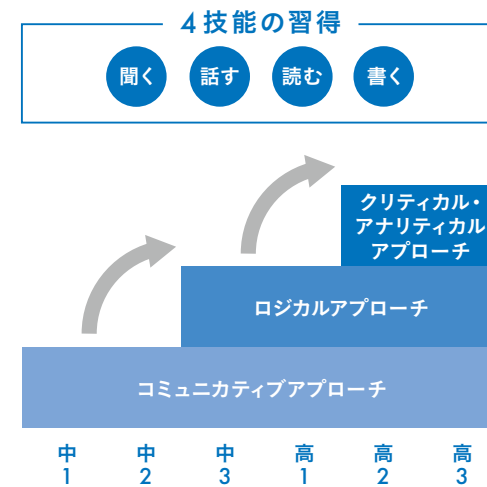
空間配列

空間的に捉えた情報を論理的構造的に秩序立てる訓練です。情報の捉え方、組み立て方に影響を与え、小論文、論文、さまざまな情報文、プレゼンテーションの土台になります。

丸本

丸ごと一冊分析する授業を年間3冊実施します。物語の構造・視点・設定・人物・葛藤・暗喩・主題などを、内容に即して議論しつつ分析し、課題に対して論証文を記述します。

森村の外国語教育



グローバル社会をたくましく生き抜く力を養う

森村学園での6年間の英語学習は、2年ずつ段階的にアプローチを発展させながら「聞く・話す・読む・書く」の4技能を習得します。初期段階の中1・中2では、コミュニケーションの道具として、英語を使えるようになることを目指すコミュニケーションアプローチ。中3・高1からは、より論理的に英語で考え、意見を述べる力の獲得を目指すロジカルアプローチ。高2・高3の最終段階では、批判的・分析的に物事を捉え、自らの考えを口頭で発表したり文章にまとめたりするなど、創造的で知的な英語の活用を目指すクリティカル・アナリティカルアプローチです。言語技術で学ぶ内容とあわせ、英語で論理的に自分の考えを述べられるようになります。



ルート別授業

中1・中2では、今までに英語に触れてきた時間と経験の差を踏まえ、New Treasureを使用し基礎から着実に学習を進めるルートと、海外のテキストUncoverを用い全て英語で学習を進めるルートを選択できます。



実践的な言語活動

普段の授業に加え、ネイティブ教員による少人数制授業を実施。海外研修などさまざまなシーンでも実践的に使える経験を積みま。さらに希望者には、英語でディスカッション等をする講座も設けています。



英検®(実用英語技能検定)

学年ごとに合格目標を設定して英語力を底上げ。中3初期までに3級合格、高1から準2級以上合格を目指し、事前の対策講座や2次試験対策の個別指導(希望制)でサポートします。



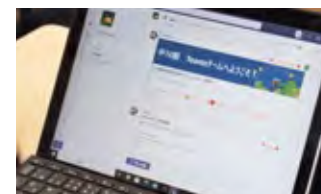
ICT環境

学びの可能性をひろげ、 社会で生きる力をつける

未来志向型教育を推進する上で、ICT環境の充実には欠かせません。本校では、2in1PC(タブレット端末としてもノートパソコンとしても使えるパソコン)を取り入れ、双方向的・主体的学びを目指しています。またMicrosoft認定教育インベーターの教員が3名おり、生徒へのきめ細やかな指導が可能です。情報取得能力の高い子どもたちの情報リテラシーを徹底的に高める指導も行いながら、学校生活や授業でのICT活用を通じて、世界で通用する人材を育成します。

2in1PC・ Microsoft Teamsの活用

本校では社会で必要とされる力を自然と身につけるため、2in1PCを利用しています。通常授業や日々の連絡に加え、Microsoft Teamsによるオンライン授業や課題提出、資料の共有も可能です。日常的に朝礼などのコミュニケーションでも活用します。



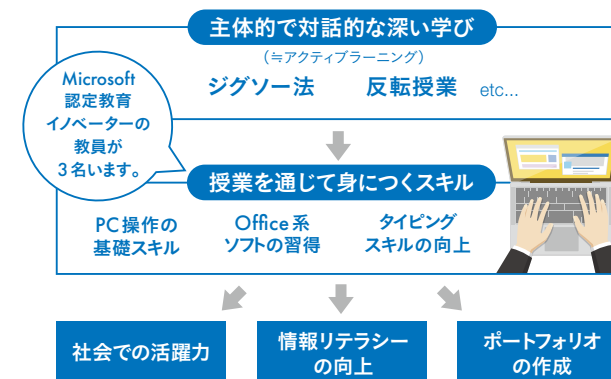
Wi-Fi完備/Adobe整備による STREAM教育^注

Wi-Fi完備により、校内どこでもインターネットに接続でき、各教室100名まで同時接続可能です。またAdobe Creative Cloudを導入し、クリエイティブな環境を整備。問題解決の手段にデジタルでの解決方法をプラスし、より効果的なSTREAM教育につなげていきます。



注) Science科学・Technology技術・Roboticsロボット工学・Engineering工学・Art芸術/デザイン・Math数学など、これからの時代に必要とされる教育分野。

森村学園のICT教育



課題解決(PBL)型授業

答えのない問いに「自分なりの答え」を出す

中等部では「未知の世界を知ろう」をテーマに、社会での活躍を見据えたさまざまなプログラムを、PBL形式で実施しています。まず中1で行うのは、「創業者・森村市左衛門研究」。市左衛門の生き方を通して、世界で活躍するのはどういったことなのか、どのように新しい道を切り拓くのか、自らの道を模索していくための基盤をつくります。

中2の「職業研究」では、各自興味のある職業について調査する過程で、グループワーク・発表を行います。中3では、「自由課題研究」において自ら問いを立て、課題解決にはどんな知識・調査が必要か、どのように発表したら理解してもらえるかを生徒主体で考えます。同様のテーマを研究する生徒同士でディスカッションし、新しい切り口を発見しながら、論文にまとめます。



Future Room(フューチャールーム)には可動式の机といす、プロジェクター、数多くのホワイトボードがあり、ダイナミックなグループ学習を可能にします。

探究学習

高1では、平和学習をテーマに広島を訪問。現地の学校や放射線影響研究所などでフィールドワークを実施した後は、学んだことをパワーポイント等にまとめて中等部の生徒に向けてプレゼンします。



SDGs学習

一昨年はSDGsカードゲームを体験。実際に17の目標に取り組んでいる企業を訪問し成果を発表する過程で、世界の課題を自分ごととしてとらえ、考えるきっかけとなりました。

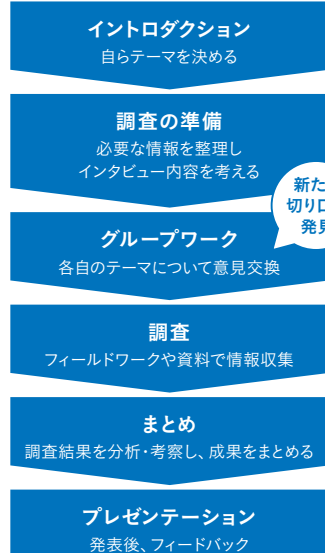


シアターラーニング

プレゼンで求められる豊かな表現能力を養うため、2019年度中1の研修旅行で導入。今年度は新入生オリエンテーションで実施しました。自分を解放し、身ぶりも交えて人の心を動かすテクニックを学びます。



授業の流れ(例)



サポート 体制

自学自習をサポートする丁寧な指導

自学自習を習慣化させ、希望の進路を実現するための学力育成を後押しする充実した体制を整えています。

家庭学習の記録、データ化

中等部のうちに、自学自習の習慣を根付かせるため、家庭での学習時間を生徒それぞれが記録します。記録したものはデータ化し、分析して見えた課題を教員から伝えることで、より効率よく効果的な習慣が身につくように導きます。



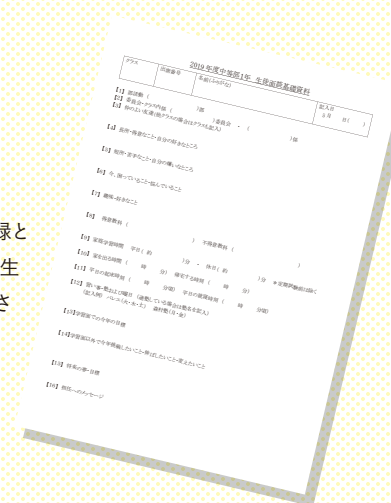
指名補習・希望補習

指名補習は、主に国・数・英において学期総合成績によって対象者を決定。長期休暇中やその都度行う講座で苦手を克服します。希望補習は成績中・上位層が対象。高等部2年や3年は、目的別の講座や大学受験演習タイプの補習などを選択可能です。



面談の記録、カルテ

年2回行う生徒との面談では、記録として「カルテ」を作成しています。生徒の現状、希望などが細かく記録されたカルテは学年が進んでも共有され、一人ひとりの生徒へのきめ細やかな指導につなげています。



駿台サテライト講座

自習室のPCや自分の2in1PCを利用して、駿台予備学校が提供する映像授業を安価で受講することができます。主に高等部3年生を対象とした講座ですが、高等部1・2年生用の講座もあり、下級生にも活用されています。



国語

自らの考えを適切な言葉で表現する力をつける

言葉を使う時に大切な「考える力」「読み味わう力」「書く・創る力」「話す・聞く力」「言語知識の力」5つの力を育みます。中1から中3では「5分間書写」を実施し、それぞれの年齢やその時の社会情勢に応じた小説、有名作品の冒頭、評論文などを書き写すことで、さまざまな言葉・表現を自分のものにします。



数学

論理的に考察する力を育む

毎日の学習習慣を定着させるために、問題集のノート提出を通じて、途中式の書き方や直しの大切さを指導します。中2までに中学の学習内容を終え、中3の1学期から高校の数学がスタートします。高1では習熟度別授業を実施。粘り強く考える力と、論理的に考え判断する力を養います。



理科

数多くの実験にじっくり取り組み分析・考察する

充実した設備で、教科書にないオリジナルの実験も交えた数多くの実験に取り組みます。実験助手(教員免許取得者)が必ずサポートにつき、安全に進めることができます。中部部では高校の学習内容も取り入れ、難しい実験にもチャレンジします。



社会

学び考えたことが人生の核になる

中1の段階では、まず、社会科を好きになることからスタート。学んだことと実社会のつながりを、頭と心と五感を使って考え、学ぶ意欲を引き出します。さらに教科書の内容をベースにしたオリジナルプリントを全授業で使用し、幅広いテーマを扱うことも大きな特徴です。正解のないあらゆる問題に対して、自分で考える力を養います。



書道

充実した環境で本格的な作品づくりにもチャレンジできる

広々とした書道室では、教室の机では書けないようなサイズの作品に挑戦することが可能です。また、水泳のビート板のような発泡プラスチックに刻字するなど、ユニークな作品づくりにも挑み、自分の表現したいことを形にする力や集中力、納得いくまでやり抜く力を育みます。



芸術鑑賞

芸術鑑賞でも一貫カリキュラムを意識

中部部では日本文化を、高等部では西洋文化を学びます。例えば、中1では和楽器、中2では狂言、中3では寄席を鑑賞。これは日本文化を理解し、海外研修などで語れるようにすることも目的としています。高等部では、ミュージカル・演劇・バレエなどを鑑賞します。事前学習を踏まえ、本物の舞台に触れて心からの感動を覚え、感性を養います。



保健体育

心も体も鍛える

中1から高2までは男女別で全員が同じ種目を実践し、高3は選択制で、さまざまなスポーツの楽しさを学びます。「心も体も育てる」ことを意識し、チームワークや仲間との関わりを通して、スポーツという枠を超えて、社会で役立つスキルを身につけます。



学ぶ意欲を引き出し
一人ひとりが
もつ力をのばす

技術家庭

チームティーチングで実技を大切に指導

さまざまな領域で実習を数多く取り入れ、よりよい生活を送るために必要な知識や技術を習得し、実生活におけるいろいろな課題を解決する方法を学びます。実習はチームティーチングで行っており、生徒一人ひとりにきめ細やかな実技の指導を目指しています。高等部では、より実践的・体験的な学習を行い、広く社会との関連から生活のあり方を考えるきっかけを作っています。



音楽

豊かな表現力を身につける

中部部では楽曲分析を行い、作曲者の意図を学びます。また、中1では琴を体験。「さくらさくら」を全員が弾けるように練習します。高等部でもいろいろなジャンルの数多くの作品に触れ、多種多様な表現方法を学びます。音楽教育は、他者とのコミュニケーションの大切さなどを学び、感受性や協調性、豊かな人間性を育む大切な教科です。



美術

個性と感性をのばす

中部部ではさまざまな表現方法や技法を体験します。また、日本美術と西洋美術を通史で学び、多様な視点や価値観に触れます。高等部では選択授業でより専門的に学び、コンセプトを重視した作品づくりを促します。自分の思いを実現していくことの難しさと面白さを実感しながら、試行錯誤する心を育てます。





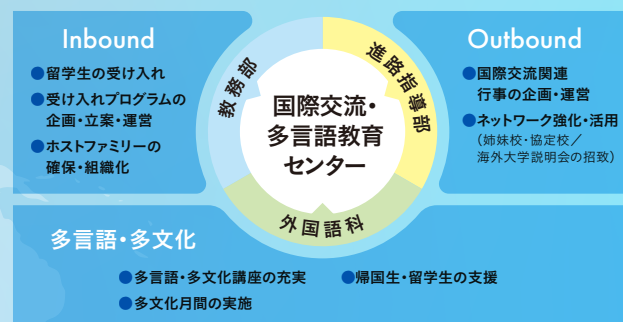
グローバル
教育

常に多言語・多文化に触れ、 語学力と人間性を育む

多様な文化や価値観に触れ、視野を広げるプログラムで、
創立者が目指した「世界に伍す若者の育成」を具現化します。

森村学園の未来志向型教育を牽引する 国際交流・多言語教育センター

本校では「国際交流・多言語教育センター」が中心となり、教育の柱となるグローバル教育を推進しています。当センターは、本校の国際交流関連プログラムを一括して企画・運営する組織です。海外修学旅行や語学研修、留学生の送り出し・受け入れを行うことはもちろん、生徒が日本に居ながらして多面的な価値観に触れる機会や、日常に多文化が存在する空間をつくり出すことを目指したプログラムを運営しています。



森村学園のグローバル教育が目指す「世界に伍す若者像」

- 1 ——— 国内外の様々な文化や多様な意見を尊重し、**多角的に物事を考える**生徒
- 2 ——— 自他の**アイデンティティを尊重**できる生徒
- 3 ——— 積極的に**多くの人々とコミュニケーション**を取る生徒
- 4 ——— 時にハードトークもいとわない、**広い見識と論理力**を持った生徒
- 5 ——— **世界の発展に主体的に寄与し**、幸福な生活を実現することのできる生徒

TOPICS

海外大学進学協定校 推薦入試制度に加盟！

海外の大学が学内の多様性を高めるために優秀な日本人学生を受け入れる目的で設けた特別入試制度です。各協定大学が設ける成績基準を満たし、学校推薦を受けることで出願が可能になります。卒業まで奨学金制度（返済義務なし）を適用する大学もあり、希望する生徒は、各大学の受給基準を満たした上で出願することで、確実に奨学生として指定の大学に入学することができます。

国際交流プログラム

多言語・多文化講座（希望制）

コロナ禍で移動が困難な中でも多様な価値観に触れ、世界を広げることをねらいとし、2021年2月より講座をスタート。講師を募ったところ、語学を得意とする教員が多数集まり、多彩なプログラムが実現しました。言語の他にも食文化や日本との違いなど、先生方の体験談を通して異文化理解を深めています。

講座の例 ●アラビア語 ●フランス語 ●ロシア語 ●中国語 ●スペイン語
●プログラミング言語 ●ポルトガル語 ●日本語日本文化

※その他の言語講座も準備中



US Dual Diploma Program（希望制）

2021年1月よりスタートしたUS Dual Diploma Programは、本校の通常の授業に加え、放課後や週末にアメリカの名門高校の授業をオンライン受講し、日米2つの卒業証書を手にするという画期的なプログラムです。履修科目はアカデミックイングリッシュや美術・音楽鑑賞教育、海洋学、世界史など。日本に居ながらして高度な英語力が身につくだけでなく、世界視点で学ぶことができるのも魅力です。



海外研修

国際力（異文化理解・アイデンティティ）の育成、国際コミュニケーション力（外国語力）の育成、人間力（生きる力・自立心）の育成を目指し、様々な国でそれまで学び身につけたことを試し、異文化に触れるプログラムを用意しています。

グローバル研修

ニュージーランド修学旅行	（中等部3年）
オーストラリア語学研修	（中等部2年～高等部2年／希望制）
マルタ・グローバル研修	（高等部1年・2年／希望制）

ターム留学

オーストラリア	（高等部1年・2年／選抜制7名）
---------	------------------

公益財団法人森村豊明会および同窓会から「留学奨励金」が支給されます。



※各種行事については現在改変を進めています

言語技術・母語教育

言語技術は、グローバル社会に求められる論理的・批判的思考力と豊かな教養を育む学びです。簡潔に話す・書くスキルだけでなく、客観的に物事を分析する力や聞き取った話を忠実に文章化する力をつけ、要約や創作にも取り組みます。

インバウンド

本校では例年留学生を受け入れ、校内を多様性に富んだ空間とするよう心がけています。留学生と交流することで多文化に触れ、多様な価値観を受容できる人財を育てます。



進路指導と
進学指導

教育活動の最適化と夢に近づくための徹底したサポート

「未知の世界」に目を向け、自らの夢の方向性を探る「進路指導」。その夢を実現させるために必要な知見を広げ、学力を向上させる「進学指導」。それら2つは車の両輪のごとく、生徒一人ひとりの希望を叶える役割を果たします。



未来へのステップⅡ希望する進路へ

TOPICS

医系総合大学 「昭和大学」と連携

昭和大学と特別協定校として協定を締結しています。今後の高大連携の実現を図るために、さまざまな相互交流を実施しています。

連携のポイント

- ・大学教育の一端を理解させるプログラムの提供
- ・高校の正規授業、課外授業等に対する支援
- ・双方に有益な教育活動等の展開
- ・昭和大学への受験希望者に対する特別入学試験制度の適用



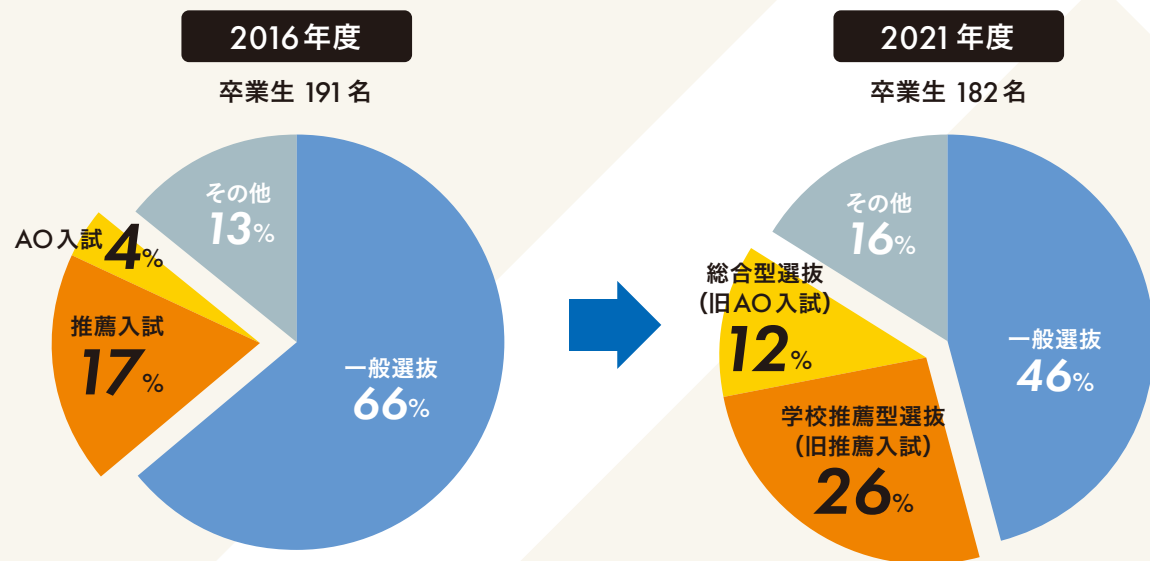
2021年度
大学入試結果

6年間の学びの成果

森村学園は、生徒の希望や適性を第一とし、その先の社会生活も見据えたきめ細やかな進路指導、進学指導を行っています。昨年度はコロナ禍においても多くの生徒が自分の目指す路への進学を決めました。国公立や難関私立大学への進学者数が順調に伸びているばかりでなく、医学系・芸術系・海外大学など進学先が幅広いことも、歴史の長い本校ならではの成果と考えています。従来のセンター試験が共通テストに替わり、また一般選抜だけでなく、秋入試といわれる学校推薦型、総合型選抜(旧AO入試)の実施割合も急激に増えている昨今、これからの入試の変化に注意深く対応していく必要があります。

進路決定者の選抜種類別割合

※5年前との比較



2021年度進学・合格者数

国公立大学	2021年度入試		2020年度入試	
	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
東京大学			1	1
京都大学			1	1
大阪大学			1	1
東京工業大学	1	1	1	1
東京外国語大学	2	2	1	1
東京学芸大学			1	1
横浜国立大学	1	1		
東北大学	3	3		
筑波大学	1	1	1	2
北海道大学				1
神戸大学				1
広島大学	1	1		
埼玉大学	1	1		
山梨大学	1	1	1	1
東京都立大学	2	2	3	7
横浜国立大学	2	2	1	1
神奈川県立保健福祉大学	2	2		
前橋工科大学	1	1		
広島市立大学		1		
山梨県立大学	1	1		
兵庫県立大学		1		
その他			5	8
国公立大学 合計	19	21	17	27

私立大学	2021年度入試		2020年度入試	
	進学者数	合格者数	進学者数	合格者数
早稲田大学	7	11	11	19
慶應義塾大学	8	9	8	11
上智大学	6	14	1	6
東京理科大学	4	19	3	25
早慶上理 合計	25	53	23	61
明治大学	6	24	7	31
青山学院大学	9	20	8	21
立教大学	7	24	6	18
中央大学	5	30	9	33
法政大学	7	19	3	30
学習院大学	4	7	1	8
GMARCH 合計	38	124	34	141

卒業生数	2020年3月	182名
	2021年3月	182名

医学系・芸術系・海外大学など多様な進学先については
ホームページでご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。



卒業生
合格体験記

新たなステップへ

森村で見つけた夢への第一歩を踏み出した2020年度の卒業生たちに、
志望校合格までの道のりを振り返ってもらいました。



関矢 紀菜さん

総合型選抜

進学先

慶應義塾大学 法学部

森村で得られた経験の全てが、私の軸となっています。中学3年次の公民の授業がきっかけで、法学部に進路を決めました。総合型選抜を受けるか最後まで悩みましたが、担任の先生の言葉のおかげで、挑戦してみようという気持ちを固められました。大変な時期もありましたが、友人たちや先生方との何気ない会話のおかげで乗り越えることができました。



實松 茉奈美さん

総合型選抜

進学先

横浜市立大学 データサイエンス学部

言語技術や海外研修など、森村でしか経験できないことが沢山あり、受験準備をする中でこれらの経験が自分を大きく成長させていたことに気がつきました。受験期には友人同士で集まり、志望理由書を読み合ったり、面接練習をしたりして過ごしました。見守り支えてくれる先生や友人たちがいる森村の環境に感謝しています。



田花 耀平さん

一般選抜

進学先

東北大学 歯学部

担任の先生との面談を通して歯学部に興味を持ち、進路を決めました。学校で導入していたMicrosoft Teamsを使い英作文の添削をしてもらったり、ICT活用がコロナ禍での受験の支えになりました。また、6年間を通じて仲間とお互いに高め合える関係性を構築できていたことが、受験に立ち向かう原動力となりました。



今吉 奏太さん

一般選抜・共通テスト利用

進学先

早稲田大学 法学部

中高一貫教育のため、受験に対する準備の時間が十分にありました。その分、部活動にも一生懸命取り組み、結果として信頼できる仲間を得ることができました。お互いに刺激し合い、支え合う仲間や、いつでも質問に応じてくれる先生方の存在が、受験を乗り切る大きな力になりました。



学園ホームページにて、卒業生インタビュー公開中

希望の路で活躍する 森村生

希望の路に羽ばたいていった卒業生たちに、
森村らしさを感じるエピソードや、
社会に出てから活きている森村での学びなどについて
インタビューしました。

ホームページは
こちらからご覧ください



物事を追求する姿勢は、
森村で身につけました。

川上 玲さん

東京工業大学 特任准教授
デンソーアイティラボラトリ シニアリサーチャー



個性豊かな仲間との学校生活が、
多様な人と関わる仕事に活きています。

鈴木 洋祐さん

株式会社博報堂 アカウントプロデュース職



行事が人をつくる

仲間とともに一つのことを成し遂げる達成感、さまざまな芸術鑑賞や研修旅行での未知の体験と感動。教室から一歩外に出て、見て、聞いて、感じて、語り合ったこと。一年一年のかけがえない体験が、生徒を大きく成長させ、これから社会に出ていく糧になります。

※2021年度の行事は変更する可能性があります



学校行事

4月
April

- 入学式・1学期始業式
- 新入生オリエンテーション(中等部1年)
- 担任ガイダンス
- 新入生歓迎行事
- 避難訓練
- 健康診断
- 校外行事(中等部)
- 球技会(高等部)
- 学園創立記念日
- 模擬試験
- ★保護者懇談会

5月
May

- 中間試験
- ★授業参観

6月
June

- 体育祭
- 芸術鑑賞(高等部)
- 数学検定
- 英語検定
- 模擬試験(高等部3年)
- ★保護者担任個別面談

7月
July

- 1学期終業式
- 期末試験
- 指名補習
- 夏期講習

8月
August

- 夏期講習
- 特別講習(高等部3年)

9月
September

- 2学期始業式
- 避難訓練
- みずき祭(文化祭)
- 模擬試験
- 数学検定

10月
October

- 中間試験
- 模擬試験(高等部3年)
- 英語検定
- ★授業参観
- ★保護者懇談会

11月
November

- 研修旅行(中等部1年)
- イングリッシュキャンプ(中等部2年)
- 修学旅行(中等部3年)
- 広島研修旅行(高等部1年)
- 京都・奈良修学旅行(高等部2年)
- 進路の日(高等部1・2年)
- 模擬試験
- ★保護者担任個別面談

12月
December

- 帰国生入学試験
- 2学期終業式
- Recitation & Speech Contest
- 期末試験
- 共通テストプレテスト(高等部3年)
- 指名補習
- 冬期講習

1月
January

- 3学期始業式
- 合唱コンクール(中等部)
- 特別時間割(高等部3年)
- 避難訓練
- 冬期講習
- 英語検定
- 漢字検定

2月
February

- 一般入学試験
- 模擬試験
- 数学検定

3月
March

- 大学受験を語る会
- 3学期終業式
- 中3証書授与式
- 高等部卒業式
- 期末試験
- 春期講習
- ★保護者懇談会

森村学園の1日 勉強も 部活動も全力で

自然豊かな落ち着いた学び舎で、今日も一日が始まります。クラスメイトと刺激し合いながら学び、放課後は部活動へ。

※2021年度の時刻は感染症対策のため変則的になります



元気な挨拶から1日が始まります。



朝のホームルーム後の約10分間、心を静め集中して読書に取り組みます。



充実した設備と環境で、勉強に集中。クラスメイトと刺激し合って学びます。



広いカフェテリアや教室で、昼食。日替わり定食も楽しみの一つです。



授業の合間に、気軽に先生に質問。オープンな職員室に生徒が集まります。



1日の最後の授業まで、集中力を保って臨みます。



放課後は、やりたいことに思いっきり打ち込みます。



時間どおりに部活動を終え、下校します。



京都・奈良修学旅行(高等部2年)
日本人としての誇りを感じ、日本文化への理解を深めます。



合唱コンクール(中等部)
心を一つに、1年間を通じて築いた団結力を発揮します。



野球部

【部員数】
 中等部 男子29名
 高等部 男子15名/女子2名
 【活動日】月・火・木・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】グラウンド
 ※中等部 軟式・高等部 硬式



サッカー部

【部員数】
 中等部 男子22名/女子12名
 高等部 男子29名/女子10名
 【活動日】月・火・木・金・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】グラウンド



バレーボール部

【部員数】
 中等部 男子2名/女子8名
 高等部 女子12名
 【活動日】月・火・木・金・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】高等部体育館



硬式テニス部

【部員数】
 中等部 男子60名/女子40名
 高等部 男子39名/女子33名
 【活動日】
 中等部 男子 月・火・金・土
 高等部 男子 月・火・木・金・土
 中等部 女子 月・火・金・土
 高等部 女子 月・火・金・土
 【活動場所】テニスコート



バスケットボール部

【部員数】
 中等部 男子16名/女子20名
 高等部 男子10名/女子10名
 【活動日】
 中等部 男子 月・火・金・土
 高等部 男子 月・木・金・土
 中等部 女子 月・火・金・土
 高等部 女子 月・火・木・金・土
 【活動場所】中等部体育館



陸上競技部

【部員数】
 中等部 男子12名/女子10名
 高等部 男子16名/女子9名
 【活動日】月・火・木・金・土
 ※月・火・木は中等部のみ 土は高等部のみ
 【活動場所】グラウンド



バドミントン部

【部員数】
 中等部 男子21名/女子33名
 高等部 男子5名/女子15名
 【活動日】
 中等部 月・金・土
 高等部 火・木・土
 【活動場所】初等部体育館



ゴルフ部

【部員数】
 中等部 男子17名/女子3名
 高等部 男子15名/女子5名
 【活動日】月・火・金
 【活動場所】校外ゴルフ練習場
 学内スペース



学年をこえて 好きなことに熱中!

森村学園の部活動には多彩なジャンルがあり、
 ほとんどの生徒が参加しています。
 中高一貫の6年間の中で、先輩・後輩の深い絆や関わりが生まれ、
 人間関係を構築する力が養われます。
 とともに夢中になれる仲間や、かけがえのない日々、
 そして心から打ち込める何かに、きっと出会えることでしょう。

※2020年度実績



剣道部

【部員数】
 中等部 男子5名/女子9名
 高等部 男子4名/女子6名
 【活動日】火・金・土
 【活動場所】幼稚園ホール



空手道部

【部員数】
 中等部 男子5名/女子8名
 高等部 男子1名/女子2名
 【活動日】月・火・木・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】幼稚園ホール



新体操部

【部員数】
 中等部 女子12名
 高等部 女子14名
 【活動日】月・火・木・金・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】高等部体育館



管弦楽部

【部員数】
 中等部 男子7名/女子40名
 高等部 男子6名/女子30名
 【活動日】月・火・木・金・土
 ※木は高等部のみ
 【活動場所】第2音楽室他



合唱部

【部員数】
 中等部 男子2名/女子13名
 高等部 女子7名
 【活動日】火・金
 【活動場所】第1音楽室



ESS部

【部員数】
 中等部 女子22名
 高等部 男子1名/女子27名
 【活動日】月・金
 【活動場所】101教室



演劇部

【部員数】
 中等部 女子6名
 高等部 女子5名
 【活動日】月・金
 【活動場所】ホール



美術部

【部員数】
 中等部 男子6名/女子20名
 高等部 女子16名
 【活動日】月・火・金
 【活動場所】第1・第2美術室



科学部

【部員数】
 中等部 男子9名/女子3名
 高等部 男子26名/女子5名
 【活動日】火・金
 【活動場所】第1理科室



囲碁将棋部

【部員数】
 中等部 男子8名/女子1名
 高等部 女子1名
 【活動日】火・金
 【活動場所】201教室



料理部(高等部のみ)

【部員数】
 高等部 男子1名/女子30名
 【活動日】火・金
 【活動場所】第2調理室



華道部

【部員数】
 中等部 女子4名
 高等部 女子5名
 【活動日】火
 【活動場所】書道室



茶道部

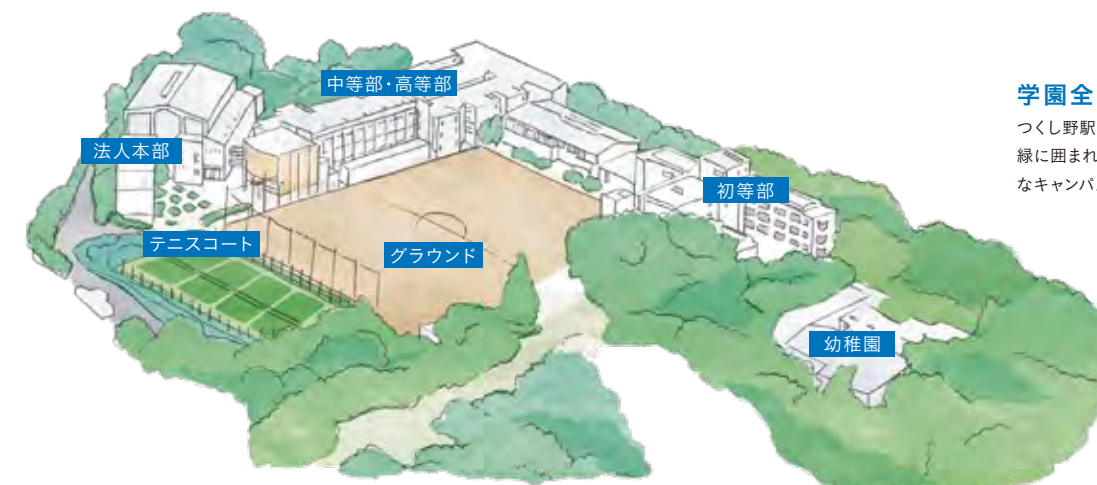
【部員数】
 中等部 男子1名/女子14名
 高等部 男子4名/女子19名
 【活動日】月(中等部)・木(高等部)
 【活動場所】茶室



施設紹介

人を育む環境と 成長を支える学校施設

学園の敷地には豊かな緑が広がっています。
その包み込むような優しさが、生徒たちの成長を促してくれます。
さまざまな樹木が自生する自然林が教えてくれる四季のうつろい、美しさ。
清々しく澄み渡る空気。こうした環境が、感性を育んでいきます。



学園全景

つくし野駅からほど近い正門をくぐると、
緑に囲まれた東京ドーム1.8個分の広大な
キャンパスが広がります。



ホール

1学年の生徒がゆとりをもって集まることのできる、約300席のホール。学年集会や講演会、音楽会、保護者懇談会、学校説明会等で利用します。



ギャラリー

校舎の中央部に位置し、地下1階から地上3階まで吹き抜けになっています。各階の廊下の両サイドには、特別教室が配置されています。



生物室

生徒の知的好奇心をくすぐる資料や実験機器が豊富に取り揃えられ、さまざまな実習に対応できます。



カフェテリア

昼は食堂、放課後は生徒たちの憩いの場となります。椅子の色によって中高生がすみわけをしています。



テニスコート

キャンパス内に砂入り人工芝のテニスコートが4面あります。周囲は桜やハナミズキなどのさまざまな季節の草木に囲まれています。



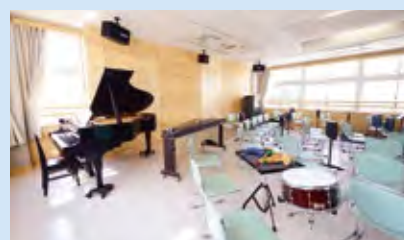
自習室

朝の7時30分から多くの生徒が利用しています。各大学の資料や過去の問題集、サテライト講座なども完備しています。



エントランス

高等部の生徒・教職員、お客様用の出入口です。登下校時の混雑を緩和するため、中等部の生徒の玄関は別に設けられています。



第2音楽室

6つある練習室のすべてにピアノが設置されており、合唱のパート別練習にも適しています。



図書館

約5万5千冊の蔵書を誇り、バリエーションの豊富さも自慢です。入口正面に特設コーナーを設けるなどの趣向も凝らしています。



教室

大きな窓からやさしい光がふりそそぐ、明るく開放的な教室。プロジェクターやスクリーン、音響設備も完備しています。



フューチャールーム

ホワイトボードやプロジェクター、可動式の机といすを備えており、ディスカッションに適した環境を用意しています。



茶室

茶道部員が使うお茶室。部屋の造りや道具も本格的で、和の心が学べる空間です。